

一級河川 88%が有機汚濁環境基準達成

国交省



国土交通省は全国一級河川 109 水系や湖沼計 1097 地点で行った平成 15 年1年間の水質調査結果をとりまとめました。

このうち有機汚濁についての調査では、有機汚濁の代表的な水質指標であるBOD(河川の基準)やCOD(湖沼の基準)の環境基準値を満足している地点の割合は平成 14 年よりさらに3%増え、88%に達しました。

BOD平均値が最も良好だったのは、北海道の後志利別川、新潟の荒川、愛知の豊川、三重県の宮川、大分の大野川の5河川でBOD平均値はいずれも1リットルあたり 0.5 ミリグラムでした。一方、BOD平均値のワースト1となったのは奈良県・大阪府にまたがる大和川で、BOD平均値は1リットルあたり 5.3 ミリグラムでした。

また川で水遊びができる目安となる糞便性大腸菌群数は、水浴場判定基準に基づく(注1)と「不適」に分類された河川が 20.7%、「可」に分類された河川が 43.4%、より良好な「適」に分類された河川が 35.9%ありました。

今回の調査結果ではこのほか、15 年度にコイヘルペスウィルスが全国 24 都府県で発生したことが報告されています。ただし、発生した河川の水質は 14 年と大きな変化はなく、水質のよしあしに関わらずウィルスが発生していると指摘されています。

(注1)水浴場以外の公共用水域で糞便性大腸菌群数の基準が未設定であるため水浴場の基準に拠ります。

資料:2004 年 7 月 7 日付 EIC ネット

生活環境箇所 清水 圭介

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

